

103-32

問題文

T型Ca²⁺ チャネルを遮断することで抗てんかん作用を示すのはどれか。1つ選べ。

1. カルバマゼピン
2. レベチラセタム
3. ガバペンチン
4. フェニトイン
5. エトスクシミド

解答

5

解説

選択肢 1,4 ですが

カルバマゼピン 及び フェニトインは、Na⁺ チャネル遮断を通じて抗てんかん作用を示します。T型 Ca²⁺ チャネル遮断ではありません。 よって、選択肢 1,4 は誤りです。

選択肢 2 ですが

レベチラセタム（® イーケプラ）は、神経終末のシナプス小胞 たん白質 2A（SV2A）との結合等を介して 作用を示すと考えられています。T型 Ca²⁺ チャネル遮断ではありません。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

ガバペンチンは、2つの作用機序により効果を発現します。Ca チャネル $\alpha 2\sigma$ リガンドとしての作用と GABA トランスポータ活性化です。T型 Ca²⁺ チャネル遮断ではありません。 よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 5 です。